トーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］

2液弱溶剤反応硬化形屋根用シリコン塗料

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	艶	荷姿（1セット）	混合比（重量）	ポットライフ	標準塗り面積（2回塗り）
トーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］	遮熱色18色	艶有り	14kgセット（主剤12kg・硬化剤2kg）	主剤：硬化剤＝6：1	5時間以内（23℃）	約46～56㎡/14kg

適用基材

屋根	新生瓦（化粧スレート）、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー鋼板、その他各種旧塗膜

注）下塗り材は、下地の種類・劣化状況に応じて適切な下塗り材を選定してください。

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量（kg/㎡/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（重量%）	塗装方法
下地調整	高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かび・こけなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。屋根材の割れ・欠損、役物の釘浮きなどは適切に補修する。						
下塗り	トーケミ万能EPOテック（ホワイト）又は、トーケミマルチサーフ	各下塗り材の標準塗装仕様による					
上塗り	トーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］	2	0.125～0.15	4時間以上3日以内	塗料用シンナー	0～5	はけ・エアレス・ウールローラー

注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

施工上の注意事項

【本製品の注意事項】

01. アスファルトシングルへの塗装は避けてください。
02. 乾式洋瓦は、ターボノズルなどを併用し150kgf/cm²以上の圧力で入念に洗浄してください。着色スラリー層の除去を確認のうえ、下塗りにトーケミ万能EPOテックを2回塗りしてください。
03. 遮熱色は、下塗りにトーケミ万能EPOテック（ホワイト）又はトーケミマルチサーフを使用し、中塗りを行わず2回塗りで仕上げてください。使用量が不足すると遮熱効果が十分に発揮されません。
04. 弱溶剤形塗料のため、取扱い時は火気に注意し、消防法・労働安全衛生法などの関係法令を守ってください。

【施工環境・気象条件】

05. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
06. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
07. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。

【素地調整・下地】

08. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
09. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。窯業系屋根材は内部に水分が残りやすいため、晴天で2～3日程度乾燥させてください。
10. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜は、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
11. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。防藻・防かび性は繁殖を抑制するものです。
12. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
13. 吸込みの激しい下地では、下塗りを濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

【調合・希釈・かくはん】

14. 2液形塗料は主剤と硬化剤を規定の比率で正確に計量し、電動かくはん機で缶底・四隅まで均一に混合してください。混合比の誤りは乾燥不良・付着不良・耐久性低下の原因となります。ポットライフを過ぎた塗料は、外観上使用できる状態でも絶対に使用しないでください。
15. 希釈は規定の希釈剤・希釈率を守ってください。過剰希釈は隠ぺい力不足・光沢低下・色相変化・だれの原因となります。現場で一度定めた希釈率は以降も同一とし、溶剤形塗料では指定外の希釈剤を使用しないでください。
16. 使用前に十分にかくはんしてください。濃色・艶調整品・遮熱塗料は顔料や艶消し剤が沈降しやすいため特に入念に。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

【屋根塗装】

17. 化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキ・カッターなどで必ず縁切りを行うか、塗装前に専用スペーサーを挿入してください。雨水の排出不良による漏水・素材劣化の原因となります。

【塗装作業】

18. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると隠ぺい不良・色相差・点さび・耐久性低下の原因となります。薄膜になりやすいエッジ部は増し塗りしてください。
19. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
20. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
21. 鮮やかな黄・赤・青・緑系の色相は隠ぺい性が低いため、隠ぺい性の良い共色で下塗りしてください。
22. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

【仕上がり・補修】

23. 被塗物の形状・膜厚・塗装方法などにより、色相・艶が見本と若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを行ってください。
24. 艶調整品は塗り継ぎで艶むらが生じやすいため、面を切って通し塗りしてください。
25. 補修用に使用塗料のロットを控えておき、同一ロット・同一希釈率・同一塗装方法で補修してください。はけ塗りとローラー塗りが混在すると、仕上がり肌や色相に若干の差が生じます。
26. 低汚染性は、建物の構造・部位・環境条件などにより十分に発揮されない場合があります。

【適用部位・部材】

27. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

【保管・取扱い・廃棄】

28. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
29. 溶剤形塗料・硬化剤は火気厳禁とし、危険物の貯蔵基準に従って保管してください。硬化剤は湿気と反応して変質するため、密栓して保管してください。
30. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
31. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
32. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

■本仕様書の内容は予告なく変更することがあります。■危険有害性情報・取扱い上の注意は、安全データシート（SDS）をご参照ください。

東京ケミテック株式会社
TEL. 03-6826-0408　https://tochemi.jp

2026年12月現在

SILICONE ROOF

トーケミ シリコンルーフ遮熱

弱溶剤タイプ

2液弱溶剤形高日射反射率屋根用シリコン系遮熱塗料

東京ケミテック Tokyo Chemitech

2液弱溶剤形高日射反射率屋根用シリコン系遮熱塗料

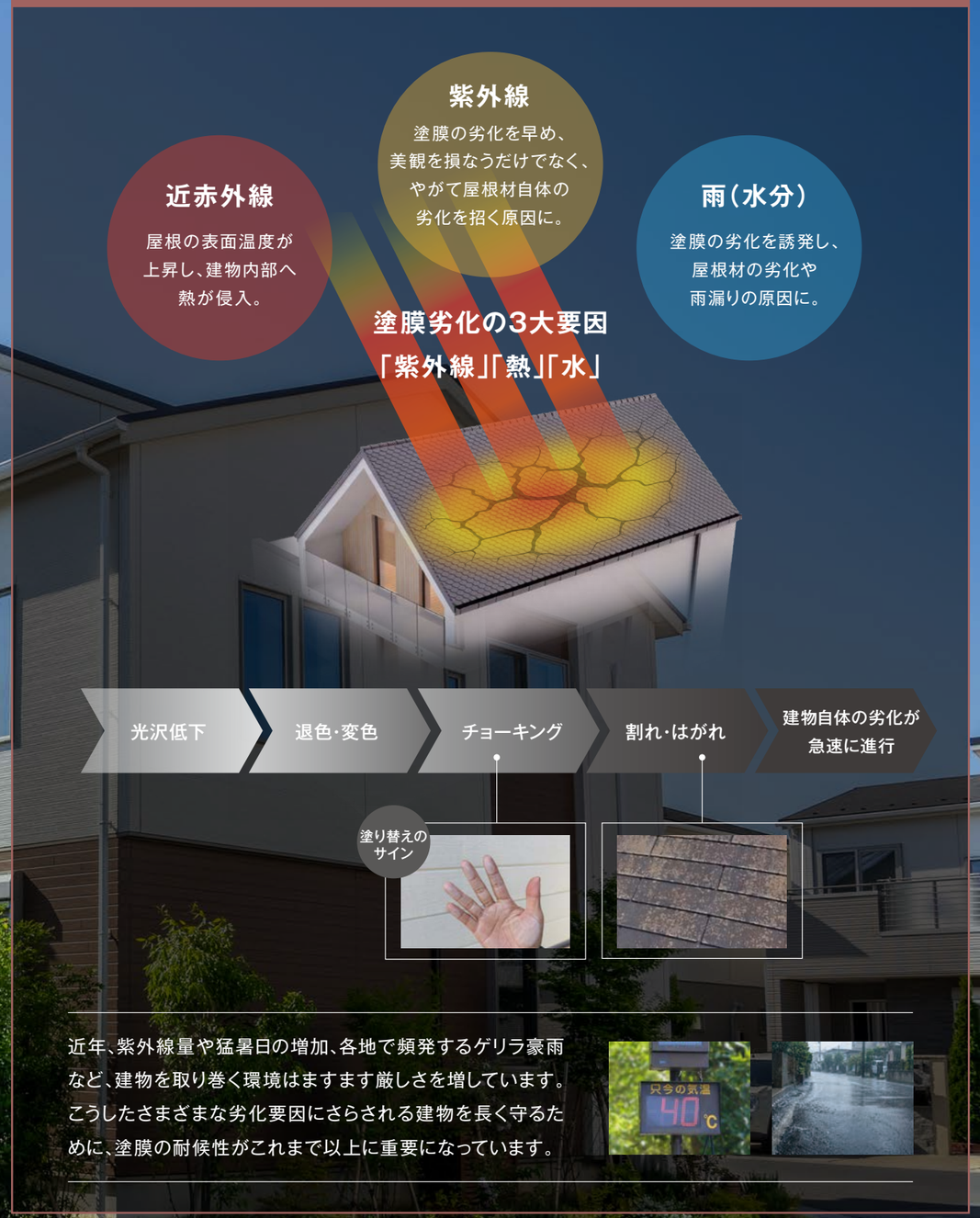
トーケミシリコンルーフ遮熱 弱溶剤タイプ

屋根は、外壁以上に紫外線や雨、風などの
厳しい外的環境にさらされ続けています。
とくに夏場は太陽光によって屋根の表面温度が上昇し、
建物への熱負荷にもつながります。

トーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］は、
優れた耐候性と遮熱性を備えた
弱溶剤の屋根用シリコン遮熱塗料です。

太陽光に含まれる近赤外線（熱線）を効率よく反射し、
屋根の表面温度上昇を抑制。
建物への熱の侵入を軽減し、
屋根の美しさと快適な住環境の維持に貢献します。

屋根は過酷な環境にさらされています



近年、紫外線量や猛暑日の増加、各地で頻発するゲリラ豪雨など、建物を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。こうしたさまざまな劣化要因にさらされる建物を長く守るために、塗膜の耐候性がこれまで以上に重要になっています。

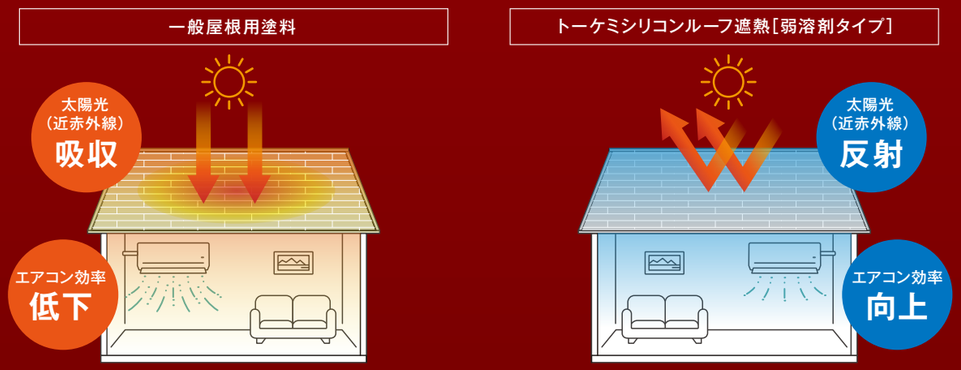


トーケミシリコンルーフ遮熱 弱溶剤タイプ

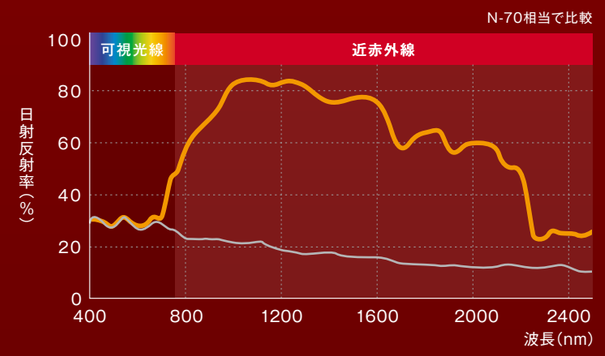
2液弱溶剤形高日射反射率屋根用シリコン系遮熱塗料

屋根・室内の温度上昇を抑制

トーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］は太陽光の近赤外線（熱線）を反射し、屋根の表面温度上昇を抑制。室内に伝わる熱エネルギーを低減し、エアコンの節電・空調費の削減に貢献します。



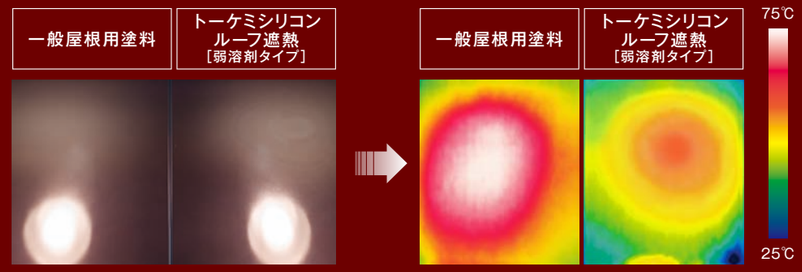
■遮熱性能のメカニズム



温度上昇の原因となる近赤外線領域（780～2,500nm）を効率よく反射し、優れた遮熱性能を発揮します。

— トーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］
— 一般塗料

■サーモグラフィーによる温度比較

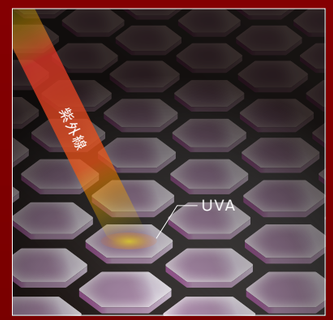


屋根を想定した試験板（鉄板）に赤外線ランプを照射し、表面温度を測定した結果、約20℃の温度差を確認しました。

ラジカル制御技術で、塗膜劣化の原因「ラジカル」の発生を抑制

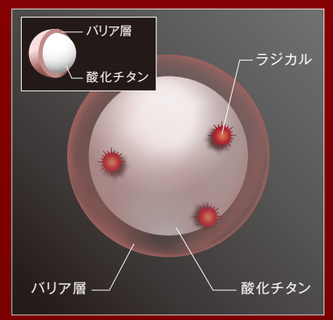
紫外線が顔料（酸化チタン）と接触することにより発生する塗膜の劣化因子「ラジカル」は、樹脂の結合を破壊し塗膜の劣化を促進します。トーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］は、ラジカルの発生を抑え塗膜の劣化進行を抑制します。

〈UVAが紫外線を吸収〉



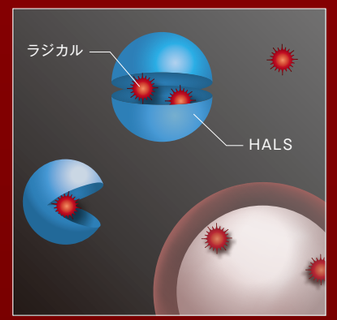
UVAがラジカル発生の原因となる紫外線を吸収し熱エネルギーに変換、塗膜中への紫外線の拡散を防ぎます。

〈酸化チタンをバリア層で保護〉



酸化チタンをバリア層で保護し、紫外線の侵入を阻止、ラジカルの発生を抑制します。

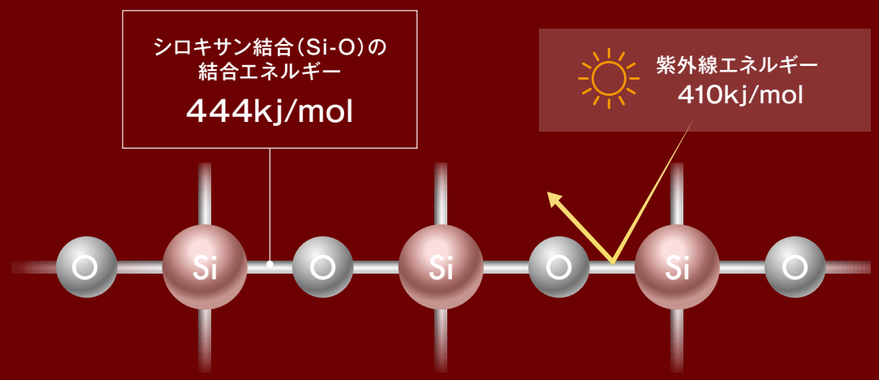
〈HALSがラジカルを捕獲〉



抑制しきれなかったラジカルはHALSが捕獲し、すべて無害化します。

紫外線による劣化を抑制し高耐候性を発揮

シリコン樹脂は、ケイ素（Si）と酸素（O）が結びついた、シロキサン結合（Si-O）を主骨格とする樹脂であり、結合エネルギーが高く耐候性や耐熱性に優れています。紫外線エネルギーより高い強固なシロキサン結合を形成するトーケミシリコンルーフ遮熱［弱溶剤タイプ］の塗膜は、紫外線による劣化を抑制し長期的に建物を守ります。





トーケミシリコンルーフ遮熱 弱溶剤タイプ

2液弱溶剤形高日射反射率屋根用シリコン系遮熱塗料

遮熱性能を長期に渡り保持し、屋根を美しく守り続ける

塗膜の劣化や汚れの付着は、遮熱性能の低下につながる要因となります。トーケミシリコンルーフ遮熱[弱溶剤タイプ]は、優れた耐候性と低汚染性により、塗膜の劣化や汚れの付着を抑制。長期にわたり高い遮熱性能を維持します。

塗膜が劣化・汚れている屋根

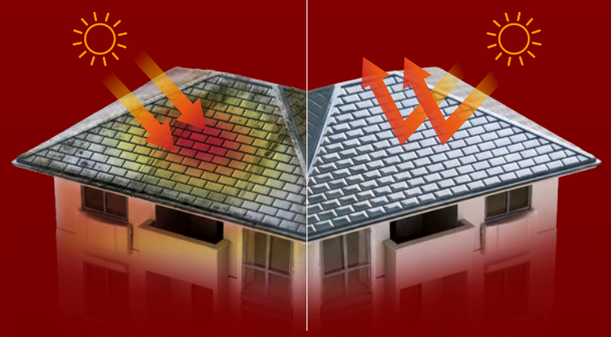
近赤外線の反射機能が低下。汚れが熱を吸収。

遮熱性能 低下

トーケミシリコンルーフ遮熱[弱溶剤タイプ]

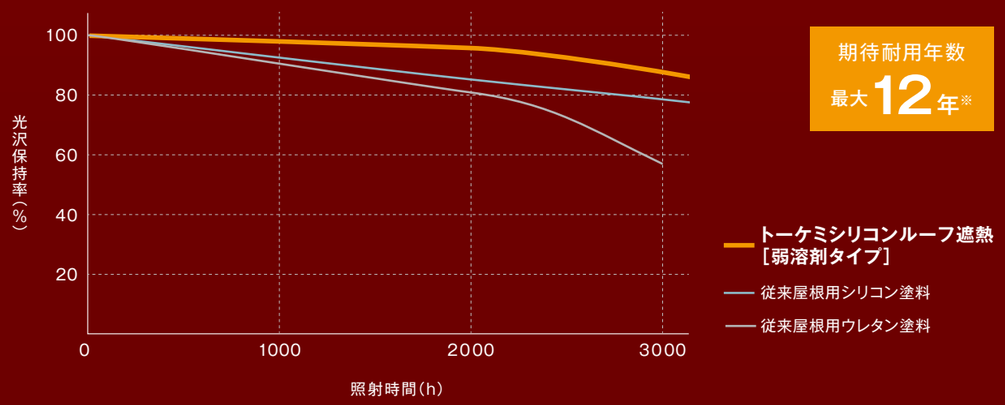
耐候性、低汚染性に優れ、反射機能を長期間保持。

遮熱性能 持続



促進耐候性試験（キセノンランプ式）

トーケミシリコンルーフ遮熱[弱溶剤タイプ]は促進耐候性試験において優れた耐候性を示しました。

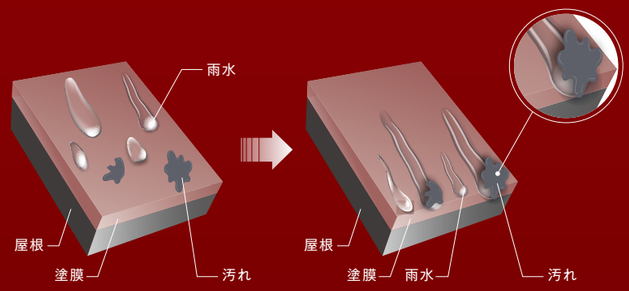


期待耐用年数 最大12年※

※期待耐用年数とは、塗膜の劣化が進み、下地を守る力が保てなくなると見込まれる時期の目安です。保証する年数ではありません。一般的な都市部の住宅で、標準的な環境と塗装条件のもとで施工した場合を想定しており、立地や気候、施工の条件によって、実際の年数は変わります。

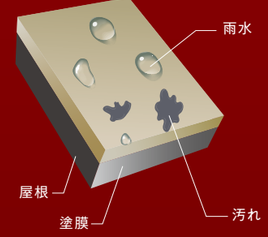
超低汚染性

トーケミシリコンルーフ遮熱[弱溶剤タイプ]の塗膜は、水になじみやすい親水性を発揮。塗膜表面に付着した汚れを雨水によって洗い流し、汚れの蓄積による遮熱性能の低下を抑制します。屋根の美観を保ちながら、優れた遮熱性能を長く維持します。



雨水が塗膜と付着した汚れの間に入り込み、汚れを浮き上がらせて洗い流します。

一般的な塗料

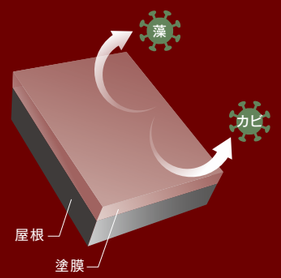


親水性が低く水をはじくため汚れが付着し落ちにくい

※低汚染性は、塗膜表面への汚れの付着を抑制する性能を示すもので、すべての汚れを防止するものではありません。また、建物の構造・形状、立地条件、周辺環境等により、汚れの付着状況は異なります。

防藻・防カビ性

藻やカビの発生を抑制し、快適な住環境を保持します。



優れた付着性

下地への密着性に優れ、強固な塗膜を形成します。

美しい仕上がり

艶感に優れた均一な塗膜を形成し、屋根に上質な光沢感と美観をもたらします。